

1. 自己紹介

(時: 2021年 場所: 東京 八王子の公園)

ぼくの名前はラディオ、八王子のとある公園の木の
下にいる。5年くらい前からだ。ここに来る前はどこに
いたのかって? そのことを、きょうはみんなに聞いて
ほしい。ぼくがここに来るまでの話は、自慢じゃない
けどちょっとした冒険みたいなものだった。まずは、ぼ
くの故郷、オーストラリアの話から始めるよ。



2. 故郷

(時: 1980年頃 場所: オーストラリア南部)

オーストラリアの南に、オリンピック・ダムという場所がある。こ
この地下深いところがぼくの故郷だ。オリンピック・ダムという地名
は、なんでもオーストラリアのメルボルンで、1956年にオリンピッ
クを開催した時についた名前らしい。そのころは、家畜の水飲み場
のようなところだったんだって。でも調べてみると、そこには世界で
一番とか二番とか、そのぐらいたくさんのウランや銅という金属が
埋まっていることがわかり、人々はそれを掘り出すことを始めた。



ぼくは、そのウラン、正確にはウラン235だった。「だった」とい
うのは、今はもう違うものになっているからだ。でもしばらくは、ぼ
くをウラン235だと思って聞いてほしい。

ウラン235は、原子爆弾の材料や原子力発電所(原発)で燃やさ
れる燃料になる。だからオーストラリアの地中からわざわざ掘り出
されるんだ。ぼくの仲間は、みんな同じ特徴を持っていて、放射線
という熱線ビームのようなものを出して変身する。変身の仕方はい
ろいろあるけど、ぼくの場合は10回以上変身して最後に鉛になる。
そう、魚釣りのおもりなんかに使われるあの鉛だ。「みんながどん
どん変身して鉛になったら、ウランはなくなってしまはずじゃな
いか」と思った人がいたら、その人はとても鋭い。実際、長い時間
がたてば、ウランはぜんぶ鉛になってしまう。ただ、その「長い時
間」というのは、とてつもなく長い。地球は生まれてから約45億年
と見られているけれど、そんな時間では短すぎるぐらい、すごーく
長い時間なんだ。

